

2014年度 石狩市公立小中学校事務職員協議会 冬季研修会記録

2014年12月26日 札幌市（かでの2・7）

<テーマ1>徴収金案内文書および督促状の交流について・・・事務局

- E 中 督促については10月、1月に文書にて、納入確認書を提出させているが、半数がもってこない。
- B 中 督促は三者懇談の一週間前に文書出している。担任に未納一覧を知らせている案内文書の中に「公費でまかなえない費用」という文言を入れている。物がない中でお金を払う感覚がわかりづらいかもしれない。支払が滞っている家庭は集金袋での徴収も行っている。
- H 小 督促は振替日の一週間前に出している。12月の個人懇談前にも出して、保護者と直接話をして督促する。
- A 中 かつては現金だったが現在は口座振替に。未納者は11月下旬に文書を出し、納入予定について保護者から返事をもっている。担任にもお知らせしている。
- C 小 未納が少ないため、特に工夫していることはない。
- D 小 督促は参観日の前と2月に出している。それでも未納の場合は教頭と教務で電話かけを行っている。
- J 小 教務で集金、PTA会費は口座振替、教材費は現金で徴収。
- J 小 教材費は担任が担当している。
- F 小 納入していただけない家庭向けの文書の中に校長先生の直筆文を掲載している。納入確約書も出させている。

質問事項・意見等

- ①E 中の未納の回答内容は担任も把握する体制になっているか。
→督促状を出すときに担任へ連絡している。
- ②B 中の「公費でまかなえない」の文言について他校で実践はないか。
→他校ではなし。
- ・公費でまかなえないという意識が教員や事務職員も低いのではないか（他市）
 - ・ワーク類も払わない家庭が1割いて三者懇談後に管理職立会で督促した。今は直接販売にして100%になった。直接販売は必然性もあり、技術科の教材も直販がいいと思う。
 - ・集金袋の実践はおもしろい方法。

- ③H 小は農協のみを指定しているが口座がない人への対応はどうしているか。
- 農協しか指定していないので、中には口座を作りたくない方もいる。そういう方には現金で納入いただいている。無理して作ってもらってはいない。
- ・厚田小の規模ならリスク管理をしっかり行えば、現金で集めた方が事務量も少なく済むのではないか。
 - ・手数料無料の地元金融機関を使っているが、進学先の中学校がゆうちょ銀行ということもあり、保護者の中には口座を作らない方もいる。口座開設をお願いしながら、回数を1回にして、未納の方には現金での納入も受け付けている。
- ④A 中の教科実習費の内訳は知らせていないのか。
- 入学式に詳細を知らせている。
- 仕事をリンクさせる上でも、一緒に知らせた方がいいのでは。
- 納入予定が立たないとした保護者から連絡はくるのか。
- ⑤C 小の文書は情報が多すぎるので、もう少しシンプルにした方がいいのでは
- ⑥D 小の手続きの文書が11月に配布される理由は。
- 人数が多いため、11月に配布しても終わるのは3月6月で集金している学級費を早めて徴収してほしいとの要望がある
- 物品購入で市内業者を使うようにするといいいのでは
- ⑦J 小
- P T Aと教材費で徴収方法が違っているので、どちらかに合わせた方がよい
- 家庭環境を把握していない事務職員がどんどんやってしまうことはどうかと思うが
- 効率化の流れのなかで、そういう学校も出てくるのでは。
- ⑧A 小
- 督促の出すタイミングはシャケ漁のあとに出している
- P T Aや教材費、一度下げたら再値上げが難しいということはないのでは。

<テーマ2> 予算要望資料の交流について・・・予算要望部

予算要望書への活用も含めて印刷費経費のグラフ化を行ってみました。

小・中であまり違いは見られないが、小規模校のコピー料が多い

○意見

- ・純正とリサイクルで変わってくるのではないか。
- ・予算要望で使った方がいい。インク・マスターの値下げを要望したが保守も含まれていると言われた。
- ・学校も考え方もあるので、載せない方がいい。
- ・今年度から学力向上予算がついているが、充分かどうかの検証が必要。
- ・小が平成24年から全体的にあがっているが、何が原因かはっきりしているのでは。

- ・チャレンジテストの枚数も増えている。予算要望で単なる経常経費としての要望でいいのか。石狩市の連携会議ではどうするのか。

※**結論**

グラフの構成を変えて、要望書の記載に前向きに考える

<テーマ3>管外視察交流（還流）について・・・調査研修部

内容は資料のとおり

※**結論**

今後も一人一回は参加できるようにしていきたい。

<テーマ4>学校に備え付けの教材教具について・・・研究部

設問1 学校備え付けにした教材教具（一覧表以外で）

D小 辞典は3年生以上の全クラスに配置

A小 段ボールカッター、竹ものさし、半紙、画用紙

J小 そろばん、竹ものさし、のこぎり、段ボールカッター、半紙、版画用紙

B中 プログラミングロボットを年度計画で購入

○中学校では物品が少ない。

質問・意見等

○成績ファイルはどのように使っているのか

→通知表や成績個票を入れて家庭に持ち帰らす方式、以前は保護者負担だったものを公費にした。

○調査が上がってこない学校に戻して聞いてみたらどうか。（竹ものさし、のこぎりなど）

設問2 今後購入予定、教員から要望されている教材教具

花川南小 養護教諭の要望でふとん（約6万円）が出てきて購入。アレルギーの問題で最近古いものを使うことは厳しいようだ。

胆振の学校 アレルギーの関係なのか、布団クリーナーが別枠で納入されたという話を聞いた。

質問意見等

○D 小の彫刻刀は40セットで足りるのか。刃の砥ぎはどうするのか。

→授業をずらせば何とかなるのでは。砥ぎはB中のように地域支援本部にお願いしてはどうか。持ってくると授業以外で遊んだりする危険性も。

設問3 設問1,2以外で、保護者負担軽減のアイデア（一覧表以外で）

○札幌ではスキーリサイクルをやっていた。聚富小中でも行ったことがあるが、学校に残ってしまうものの処分のこともあり、やめてしまった。D小でもPTAで500円で販売し、売り上げはPTA特別会計へ。

○千歳のある学校では、PTAで不要となったスケートを集めて、砥ぎ代500円で1シーズン貸し出すということを行っていた。

○E中では制服のリサイクルも行っていた。

○小規模校では卒業アルバムの自校製作を行っている。

○算数セットを使わなくなった後に親から寄贈してもらう方法もあるのでは。

○小規模校なら粘土板、カッターマットもできるのではないか。